

令和元年度「村長と話そう むらづくり懇談会」会議録（概要）

- 開催日時：令和元年10月26日（土） 午後7時～午後9時
- 開催場所：上竹田公会堂
- 参加者：26名

【平成30年度決算説明後の意見交換】

テーマ①『地域コミュニティの課題』

（意見等）

常会対抗の行事、分館行事などに人が集まらない。

行政以外の役員もあり、負担となっている。

「村が連絡班にお願いしている行事・仕事」と「常会で行なっている行事・仕事」を分けることはできないか？

連絡班未加入者は環境整備に出席しないなど不公平がある。

村が村民に対して、連絡班の説明をしっかりと、ある程度強制的に加入してもらえるような指導ができないか？

（村長）

村からの仕事をお願いするために、30年ほど前に常会に連絡班をかぶせた。村の人口が増え始めた頃から常会のバランスが取れなくなったように思う。昔の風習のまま役員の選出を行なっているのが現状。

コミュニティ検討委員会で様々なご意見をいただいているが、村で線を引いてしまうと、これまでのお祭りや文化、風習が崩れてしまうのではないかという懸念もある。世代間で地域行事に対する捉え方のギャップがあることも議論になる。

（意見等）

「常会=任意の組織」、「連絡班=行政の組織」という認識を住民の方に持ってもらうことが必要ではないか。

テーマ②『少子高齢化時代の課題』

（意見等）

ふるさと応援寄附金と人口増加の仕組み、村の取組みを教えてほしい。

（村長）

ふるさと応援寄附金の趣旨は、その自治体を応援すること。観光や旅行者としてではなく、より深く村に興味を持ってもらい、関係人口を増やしていく、

そして将来は移住につながれば良いなと考えている。

返礼品でリンゴオーナーを選んだ愛媛県の方が、美味しかったからとその後も村に来ていただいた実績もある。

(意見等)

寄附していただいたお金を子どもや教育に還元することで、若い世代の移住につなげてほしい。

(意見等)

独身の人が多くいるので、男女の交流の場を設けてもらいたい。

(村長)

観光・イベントを兼ねて婚活事業ができれば良いと考えている。

(意見等)

積極的に企業誘致をしたらどうか？活気が出て、定住者が増え、法人税も増える。また、都会から就農のために来る方に、補助金や住居のあっせんなどをしたら定住につながるのではないか。

(村長)

企業誘致のためには、村で受け入れるための「土地利用計画」策定に着手しなければならない。

就農の補助事業はあるが、PRに力を入れたい。

(意見等)

この3年間で人口を増やした自治体に南箕輪村がランキングされていた。増加している市町村、減少している市町村それぞれの要因を分析してみてはどうか？

(村長)

山形村は、近隣でも羨ましがられるほど人口が増加していた。「山形村未来会議」「若者会議」を村の中でやってもらい、将来の山形村はこうあるべきだといった意見交換ができないかと考えている。村長の指名で開催するのではなく、村民の中で自主的、積極的に開催していただきたい。良いアイデアがあれば教えてもらいたい。

村に住んでいる皆さまが山形村は住みやすいと実感してもらうことが大切だと思う。実際に住んでいる方が、子育て支援が充実している、住みやすいとPRしてくれるのが一番人口増加につながる。

(意見等)

防犯灯のLED化について教えてほしい。

(村長)

今年度中に全村の防犯灯をLED化することを目標に、全額村費で行なっている。

テーマ③『その他』

(意見等)

YCSの気象情報が故障したままである。農家にとって雨量の情報は重要なので、春までには直してほしい。

(村長)

現在、気象データをYCSチャンネルに送出する機械が故障している。修理するためには多額の費用がかかるので、農村情報センター運営委員会で意見を聞き検討している。